

TORO®

スロープセンサーキット
Groundsmaster® 7200 および 7210 シリーズトラクションユニット
モデル番号 31251

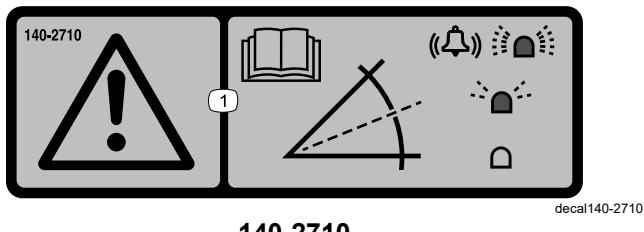
取り付け要領

安全について

安全ラベルと指示ラベル



危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



1. 警告オペレーターズマニュアルを読むこと速く点滅するライトと音声アラームは急斜面を意味するゆっくり点滅するライトは中程度の斜面を意味するライトが消えているのは通常の傾斜。



取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行う。
センサーモジュール	1	
LED ライト	1	
ボルト $\frac{1}{4}$ x $1\frac{1}{4}$ "	2	
フランジナット $\frac{1}{4}$ "	4	
ボルト $\frac{1}{4}$ x $\frac{3}{4}$ "	2	
取り付けブラケット	1	キットを取り付けます。
ワイヤハーネス	1	
アラーム	1	
デカル	1	
ケーブルタイ	2	
デカル	1	デカルステッカーを貼り付けます。
必要なパーツはありません。	-	センサーのキャリブレーションを行います。

前後左右は運転位置からみた方向です。

マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. PTOの接続を解除し、アタッチメントを下降させる。
3. 駐車ブレーキを掛ける。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 全ての動きが停止するのを待つ。
6. マシンの各部が冷えるのを待つ。

キットを取り付ける

センサーモジュールを取り付ける

1. バッテリーの接続を外します。バッテリーの接続を外す手順はオペレーターズマニュアルを参照のこと。
2. 機体からフードを外す。フードを外す手順はオペレーターズマニュアルを参照のこと。
3. マシンのフレームの図 1に示す部分に穴があるかどうか調べる。穴があれば 6へ進む。

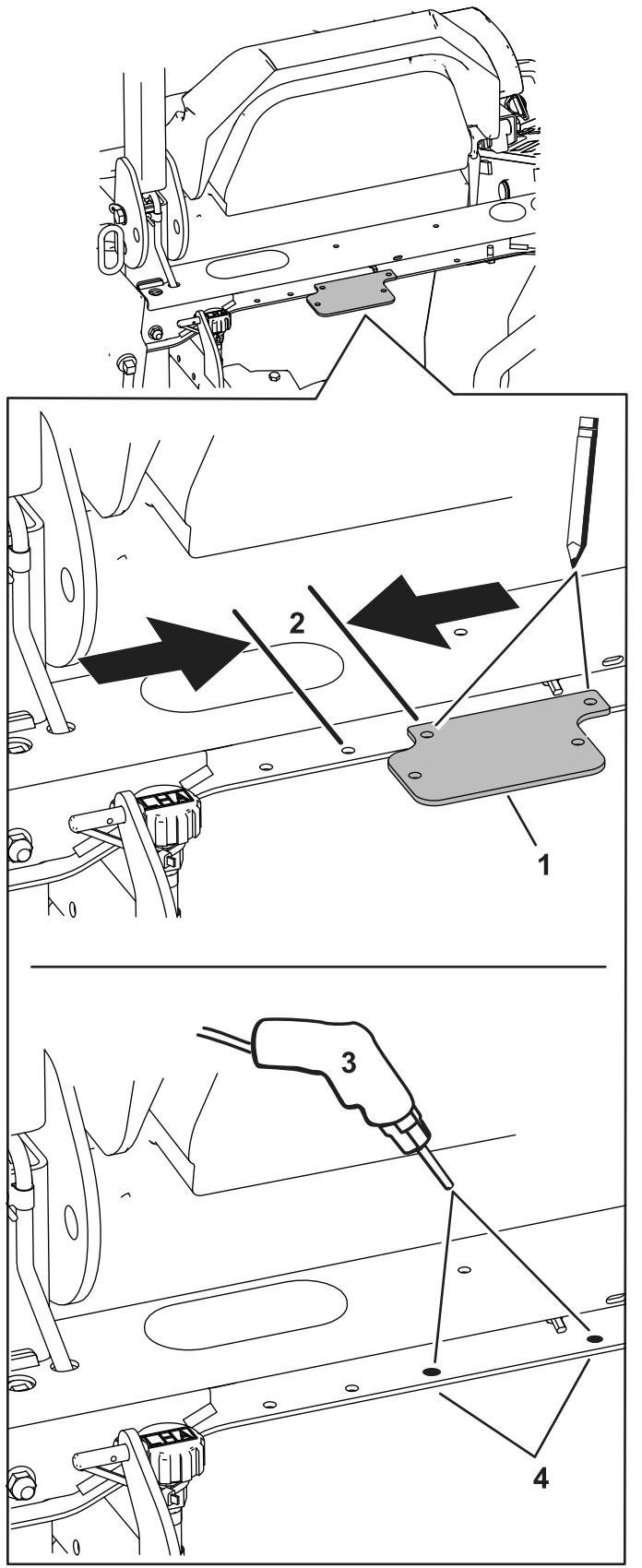


図 1

1. 5 cm (2")
2. 取り付けブラケット
3. 7.1 mm の穴をあける
4. ここに穴があるかどうか調べる。

4. 取り付けブラケットを型紙として使って、穴の位置決めをする図 1。
5. マシンのフレームに直径 7.1 mm の穴を開ける図 1。
6. フレームに取り付けブラケットを取り付けるボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}"$ 2 本とフランジナット $\frac{1}{4}"$ 2 個を使用する。

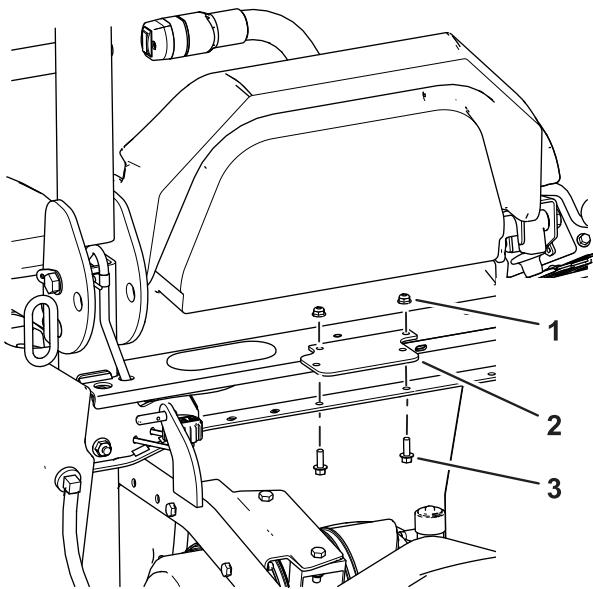


図 2

g320859

1. フランジナット ($\frac{1}{4}$ ")
 2. 取り付けブラケット
 3. ボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}"$
-
7. 取り付けブラケットにセンサーを取り付けるボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{4}"$ 2本とナット $1/4"$ 2個を使用する。

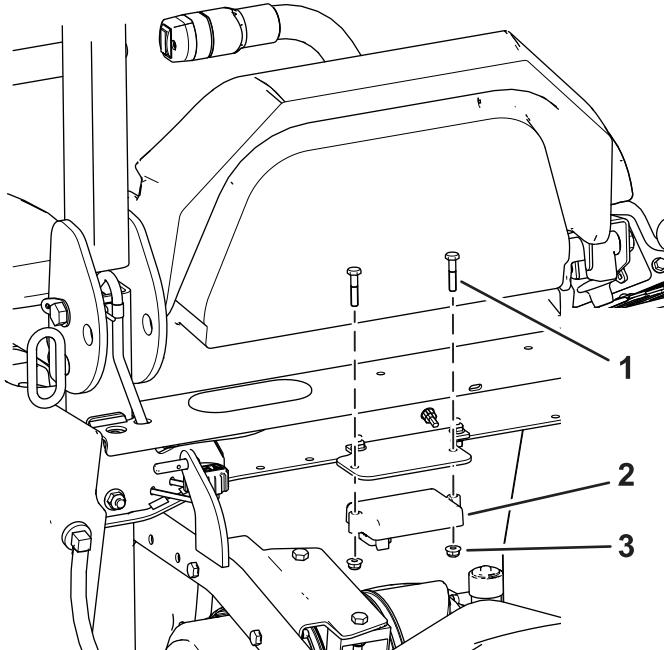


図 3

g320856

1. ボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{4}"$
 2. フランジナット ($\frac{1}{4}$ ")
 3. センサー
-

8. センサーに 90° コネクタを接続する図 4と図 8。

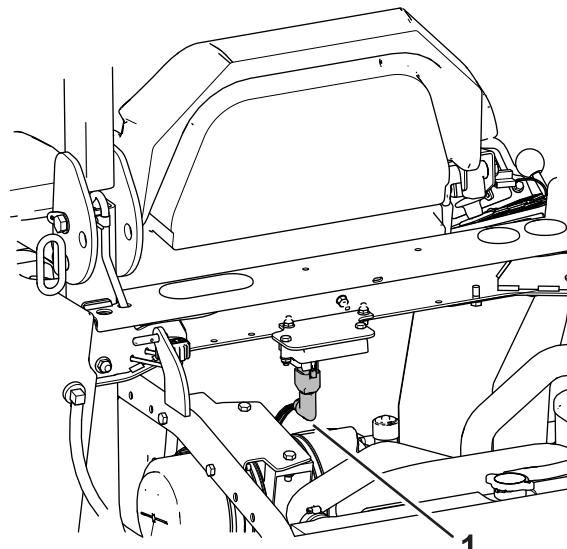


図 4

g321005

1. 90° コネクタ
9. 運転席を前に倒す。
10. 座席後ろとコンソール側面のアクセスパネルを外す (図 5)。

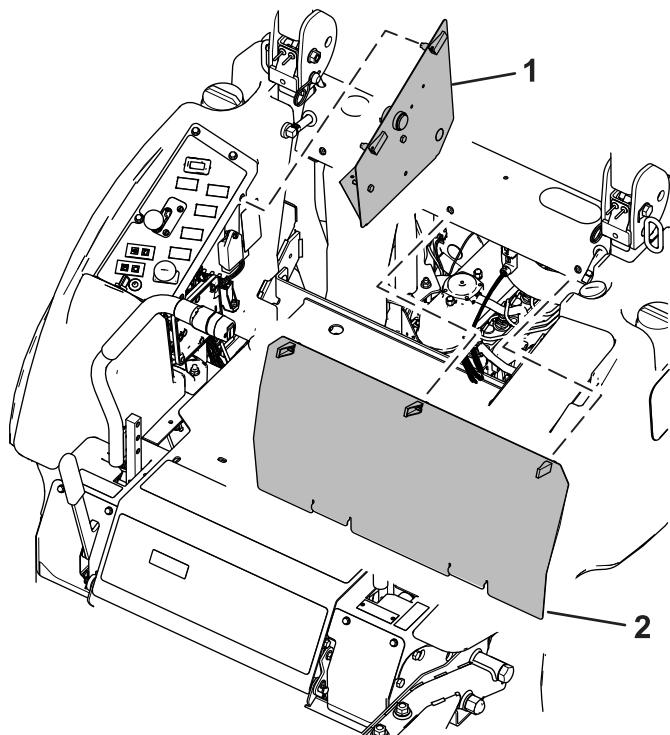


図 5

g320861

11. コンソールパネルにアラームを取り付ける図 6。

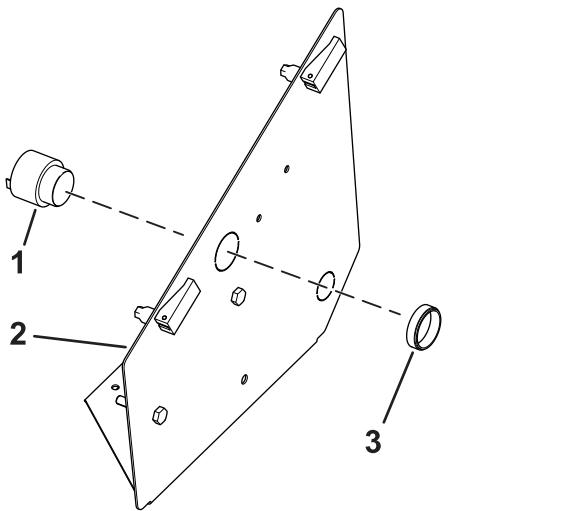


図 6

- 1. アラーム
- 2. コンソールパネル
- 3. ねじ山付きリング

g320855

2. 真ん中のコネクタを、マシンのワイヤハーネスのTELEMATICSポートまたはEXPANSIONポートというラベルの付いたコネクタに接続する(図8)。
3. ワイヤハーネスをライトとアラームに接続する図8。

既存のワイヤハーネスに沿って、ハーネスをコンソールに導く。

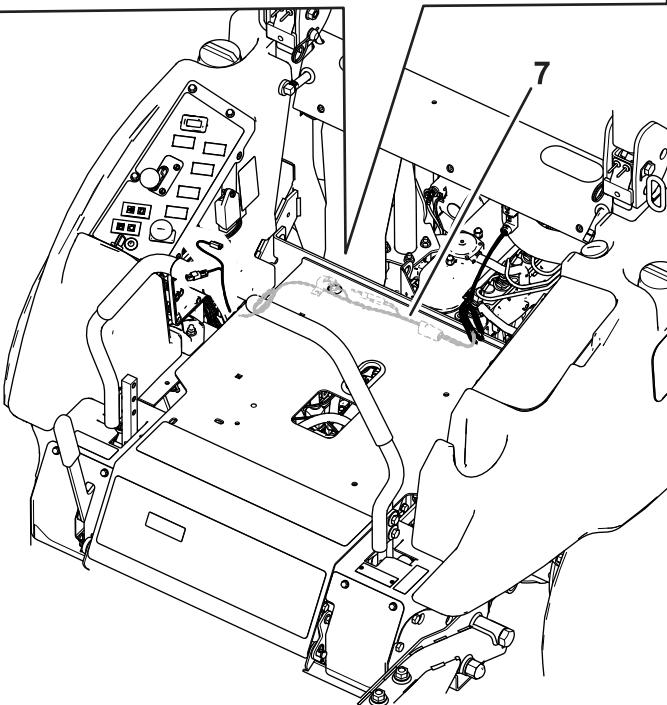
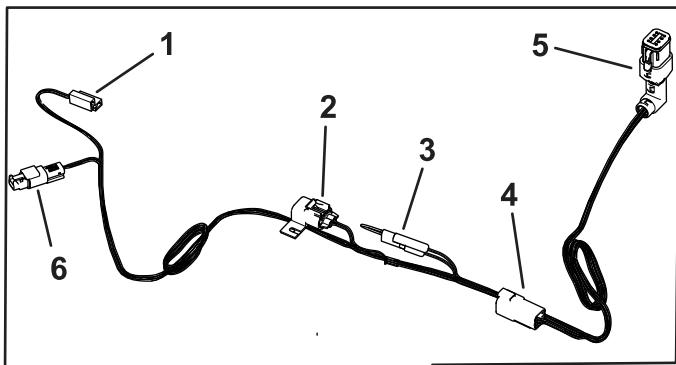


図 7

g320856

- 注** ライトを取り付けてデカルエリアを除去するのは、インフォセンターのないマシンのみです。
12. インフォセンターがないマシンでは、コンソールのデカル部分にライト用の穴を開ける。
 13. コンソール上部にライトを取り付ける図7。

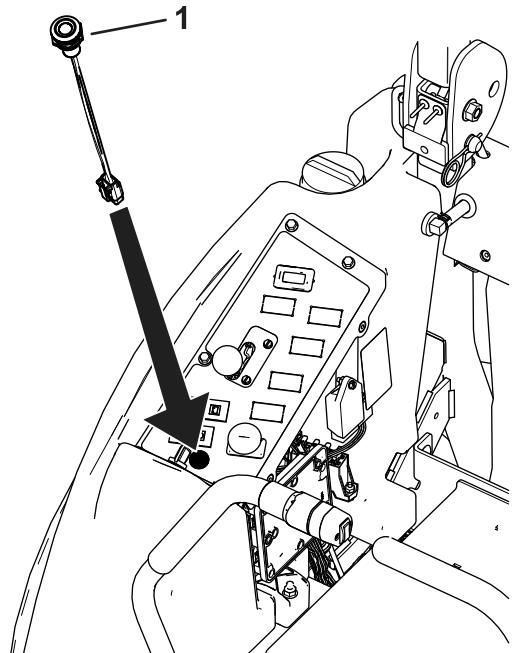


図 7

- 1. ライト

g320856

1. アラームコネクタ
2. ヒューズホルダー
3. キャリブレーション用コネクタ
4. 真ん中のコネクタ
5. 90°コネクタ
6. ライトのコネクタ
7. ハーネスを座席の下に、既存のハーネスに並べて配設する。

4. ケーブルタイを使って新しいハーネスを既存のハーネスに縛り付ける。

注 可動部分や高温部からハーネスを十分に離してください。

5. バッテリーを接続します。手順はオペレーターズマニュアルを参照のこと。

ワイヤハーネスを配設する

1. ワイヤハーネスを座席下シートパンの下に通し、既存のハーネスに沿わせてクロスチャネルに配設する(図8)。

デカルステッカーを貼り付ける

図9のようにデカルを取り付ける。

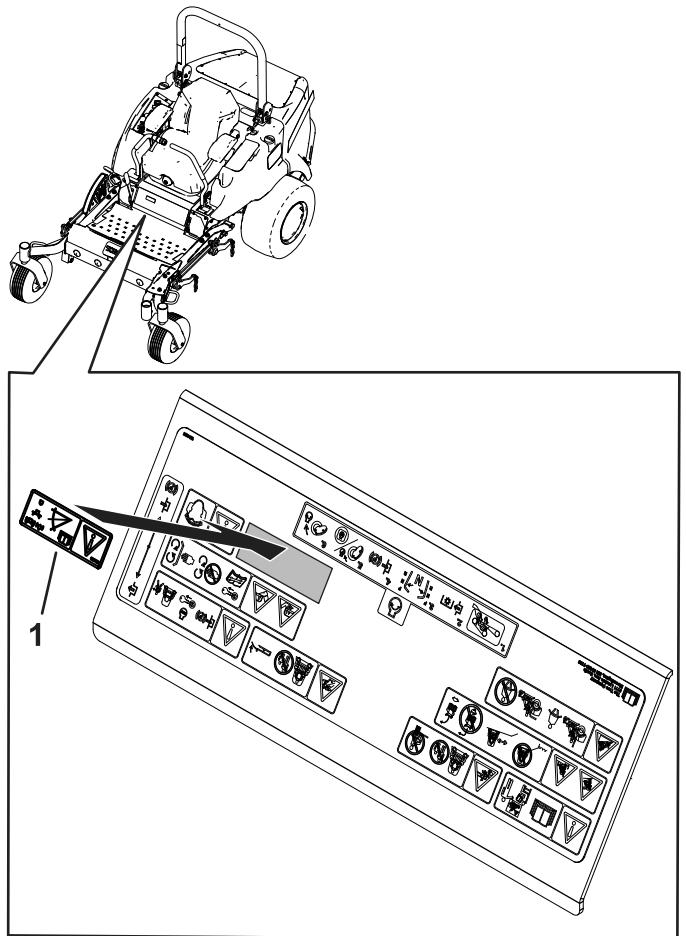
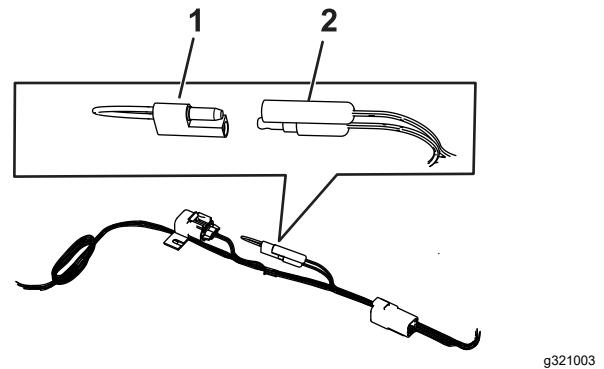


図9

1. デカル

センサーのキャリブレーション

1. 平らな床の上で、キャリブレーション用コネクタからプラグを外す図10。
2. 図10のように、キャリブレーション用コネクタ同士を接続する。



g321003

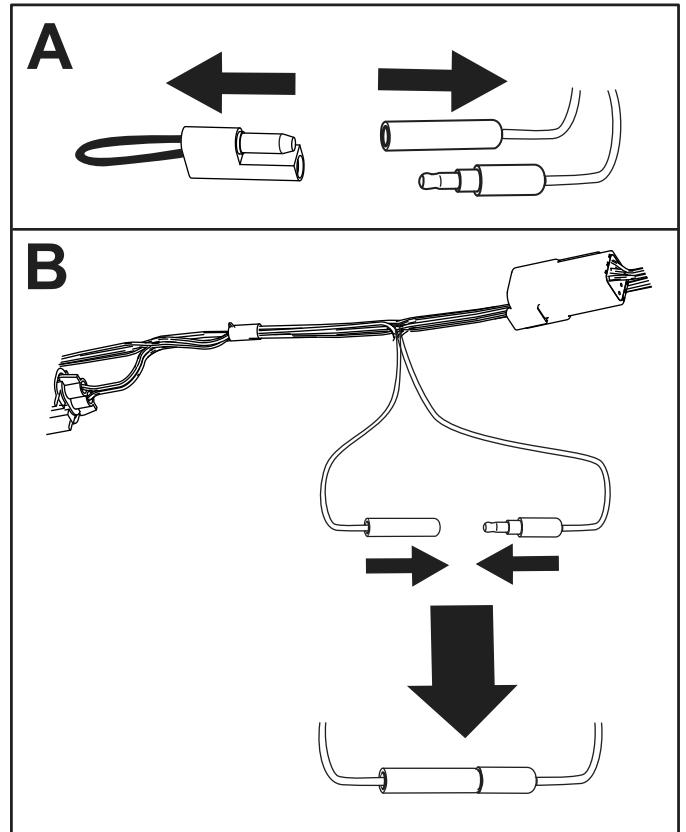


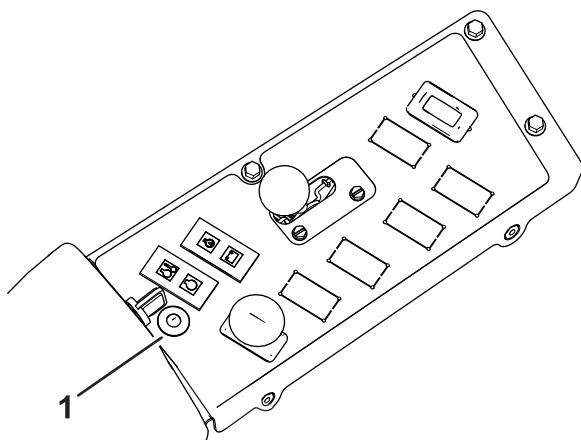
図10

1. キャリブレーション用コネクタ 2. プラグ
3. イグニッションキーをON位置に回すが、エンジンは始動させない。

4. 以下の手順を行うマシンに装備されている LED ライトの種類により手順が異なる。

A. コンソールの LED ライト (図 11):

- i. センサーのキャリブレーション中は LED ライト (図 11) が点滅する。
- ii. キャリブレーションが終了するとランプの点滅が止まり、センサーが 1 回鳴る。
- iii. キースイッチを OFF 位置に回す。



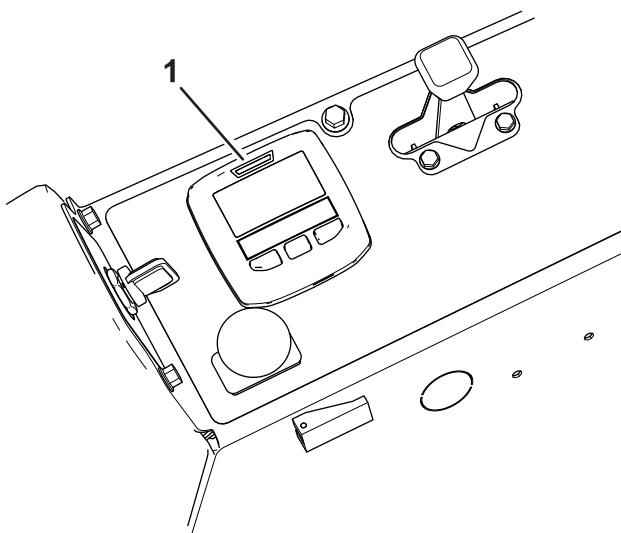
1. LED ライト

B. インフォセンターの LED ライト (図 12):

- i. インフォセンターにアドバイス 195 スロープセンサーのキャリブレーションが表示される。

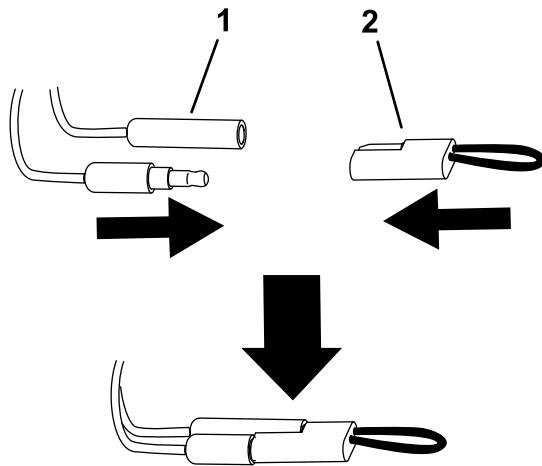
注 ディスプレイ画面の上部にある LED ランプ 図 12 が点滅を開始し、キャリブレーションが始まる。

- ii. インフォセンターにアドバイス 196 が表示されると、キャリブレーションは終了し、ランプの点滅が止まり、アラームが 1 回鳴る。キーを OFF 位置にする。



1. インフォセンターの LED ライト:

5. キャリブレーション用コネクタの接続を外して各コネクタにプラグをはめる図 13。



1. キャリブレーション用コネクタ 2. プラグ

運転操作

以下の手順を行うマシンに装備されている機器により
手順が異なる。

▲ 警告

斜面はスリップや転倒などを起こしやすく、これら
は重大な人身事故につながる。

斜面で運転する場合には安全に十分に注意す
ること。

LED ライトでスロープセンサー を使う

ランプと音で斜面の傾きの程度を表します [図 11](#)

- ・ ランプなし通常の作業条件
- ・ 赤ランプがゆっくり点滅中程度の斜面
- ・ 赤ランプが速く点滅してアラームが鳴る急斜面傾斜
の緩やかな場所に移動すること。

インフォセンターでスロープセ ンサーを使う

ランプと音で斜面の傾きの程度を表します [図 12](#)

- ・ ランプなし通常の作業条件
- ・ 赤ランプがゆっくり点滅中程度の斜面
- ・ 赤ランプが速く点滅してアラームが鳴る急斜面傾斜
の緩やかな場所に移動すること。